

広済堂ホールディングス 個人投資家さま向け説明会

株式会社 広済堂ホールディングス
代表取締役社長 黒澤 洋史

0 目次

1	広済堂ホールディングスについて ・会社概要 ・事業概要	P. 2
2	2023年3月期 決算説明 ・2023年3月期 通期業績（連結） ・株主還元 2023年3月期 配当 ・各事業セグメントの状況 ・新規事業について	P. 8
3	2024年3月期 業績予想・配当予想 ・2024年3月期 業績予想 ・2024年3月期 配当予想	P. 16
4	中期経営計画3.0 ・業績目標 ・基本方針 ・長期展望/成長戦略 ・株主還元 ・全体資金計画	P. 21
A	ご参考資料	P. 37

1

広濟堂ホールディングス について

1-01 会社概要

会社名

株式会社広済堂ホールディングス

創業

1949年1月

売上高

36,668百万円
(2023年3月期)

総資産

71,134百万円
(2023年3月末)

純資産

41,434百万円
(2023年3月末)

代表者

代表取締役社長 黒澤洋史

従業員数

1,101人 (連結 | 2023年3月末現在)

市場情報

東京証券取引所プライム市場
(証券コード：7868)

1-02 葬祭セグメント | 主な事業内容

火葬場運営

・
式場提供

公共性の高い火葬事業運営

100年超の歴史のある東京博善が、東京都23区内で、火葬という公共的な使命を果たしてまいりました

ハイグレードな施設

斎場の近代化を進め、バリアフリー空間、クリーンな火葬システムの導入で、有終の美を飾るにふさわしい場を提供



火葬炉前ホール

葬儀サービス



東京博善のお葬式

最高品質のサービス

古くから日本が築きあげてきた葬送文化を大切にしながらも、時代の変化に合わせて故人さまとご家族に寄り添ったサービスを提供

明朗でわかりやすいプラン

ご家族が故人さまとの最期のお別れを不安なく迎えられるようなプランをご提案



1-03 葬祭セグメント | 東京博善・施設紹介

■ 総合斎場（式場機能を備えた火葬場）



町屋斎場（荒川区）



落合斎場（新宿区）



代々幡斎場（渋谷区）



四ツ木斎場（葛飾区）



桐ヶ谷斎場（品川区）



堀ノ内斎場（杉並区）

都内23区内に6カ所 / ハイグレードな施設

1-04 情報セグメント | 主な事業内容

印刷事業

印刷ソリューション

コミックス・書籍などの出版物、広報・販促物から、パーソナル対応に適したOne to Oneのデジタル印刷まで提供



高付加価値印刷

当社独自の高精細印刷技術やブラックライト印刷など高い技術力でお客様をサポート

BPO

ワンストップソリューション

コールセンター、データ処理代行、ECサイト運営代行、お客様のニーズに合わせた最適な設計とグループ力をいかした幅広いサポートが可能



IT サービス

デジタルソリューション

印刷で培った情報加工技術を応用、Webサイトやシステム構築から、オリジナルのクラウドサービスまで、DX推進を支援



1-05 人材セグメント | 主な事業内容

求人媒体

東北・北陸地方で40年超

地域密着で、アルバイトから正社員、派遣スタッフの募集まで、さまざまな雇用形態を訴求する「Workin（ワーキン）」を運営
自社開発の採用管理システム「TaletClip」と連携させることにより効率的な採用が可能に



人材派遣

多様なニーズに対応

新潟・埼玉・宮城エリアを拠点に、オフィス系・物流系・製造系など多様な人材を派遣



人材紹介

企業・求職者の ベストマッチングを追求

1人のコンサルタントが企業・求職者の双方を担当する「一気通貫型」で対応。質の高い人材マッチングを実現します。



2

2023年3月期 決算説明

2-01 2023年3月期 通期業績（連結）

- ・ グループ連結業績において、より収益性の高い体質に
- ・ この継続的・安定的な収益基盤のもとに、更なる成長へ

（単位：百万円）

	2024年3月期 業績予想	2023年3月期 通期実績	2022年3月期 通期実績	前年同期比		2023年3月期 当初業績予想 (2022/5/16)	業績予想比	
				増減	増減率(%)		増減	増減率(%)
売上高	40,000	36,668	35,361	1,307	3.7	37,800	▲1,132	▲3.0
営業利益	6,360	4,280	3,729	551	14.8	3,800	480	12.6
経常利益	6,110	4,185	3,610	575	15.9	3,700	485	13.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,500	4,042	3,643	399	11.0	2,950	1,092	37.0

2-02 株主還元 | 配当

2023年3月期 配当予想の修正

✓ 通期連結業績結果に伴い、期末配当を修正（配当性向15%）

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
2022年3月期 実績	0円00銭	0円00銭	0円00銭
2023年3月期 実績	7円75銭	—	—
2023年3月期 前回予想（2023年2月10日）	7円75銭 <実施済>	12円50銭	20円25銭
2023年3月期 今回修正予想	7円75銭 <実施済>	13円50銭 [※]	21円25銭
2024年3月期 予想	23円65銭	23円65銭	47円30銭

※ 2023年3月期 期末配当については、当社定時株主総会（6/29）にて決議を受ける予定

2-03 2023年3月期 通期 事業セグメント別業績サマリ

(単位：百万円)

	売上高		前年同期比		営業利益		前年同期比	
	2023年3月期 通期	2022年3月期 通期	増減	増減率 (%)	2023年3月期 通期	2022年3月期 通期	増減差	増減率 (%)
葬祭	↑ 11,943	9,384	2,559	27.3	↑ 4,200	3,233	967	29.9
情報	↓ 18,047	19,120	△ 1,073	△ 5.6	↑ 833	729	104	14.2
人材	↓ 6,677	6,856	△ 179	△ 2.6	↓ 133	480	△ 347	△ 72.2
調整額等			0	—	↓ △ 886	△ 713	△ 173	
合計	↑ 36,668	35,361	1,307	3.7	↑ 4,280	3,729	551	14.8

(報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更等について)

当連結会計年度より、報告セグメントごとの経営成績をより適切に評価するため、報告セグメントのセグメント利益に含まれていた各グループ会社の経営指導料を、セグメント利益の調整額に全社費用として計上する方法に変更しております。なお、前連結会計年度のセグメント情報については、変更後の区分方法及び利益または損失の算定方法により作成したものを記載しております。

2-04 2023年3月期 通期 葬祭セグメントの状況（対前年同期）

（単位：百万円）

	売上高		前年同期比		営業利益		前年同期比	
	2023年3月期 通期	2022年3月期 通期	増減	増減率 (%)	2023年3月期 通期	2022年3月期 通期	増減	増減率 (%)
葬祭	11,943	9,384	2,559	27.3	4,200	3,233	967	29.9

当事業セグメントにおける市場概況

- 葬儀の簡素化傾向は継続も、来場者数増による式場・菓子飲料・休憩室の需要増。

売上高

- ↑ 葬儀数および休憩室利用件数が前年比で増加
- ↑ 2022年8月および12月頃にコロナウイルス感染拡大傾向があったが行動制限等なく、結果、葬儀の簡素化傾向が抑制された。式場利用・菓子飲料・休憩料が前年比で回復

営業利益

- ↑ 式場利用・菓子飲料・休憩料の増収による利益面での改善
- ➡ 燃料費等の高騰に伴い、サーチャージ型の変動型料金を導入（2022年6月より実施）

2-05 2023年3月期 通期 情報セグメントの状況（対前年同期）

（単位：百万円）

	売上高		前年同期比		営業利益		前年同期比	
	2023年3月期 通期	2022年3月期 通期	増減	増減率 (%)	2023年3月期 通期	2022年3月期 通期	増減	増減率 (%)
情報	18,047	19,120	△1,073	△5.6	833	729	104	14.2

当事業セグメントにおける市場概況

- 印刷の需要後退が継続。官公庁・自治体のBPO関連事業では競争激化

売上高

- ↓ BPO : コロナ関連の公共事業縮小・競争激化。4 Qでは前期コロナ案件特需の反動減
- ↓ 印刷 : 出版印刷では一部タイトルで好調案件があるも、新刊部数の減少、重版案件の減少など、商業印刷も含め、印刷全般の縮小傾向が継続
- ↓ パッケージ印刷（中国） : コロナ規制等の影響で中国国内営業の悪化

営業利益

- ➡ 印刷関連事業 : 内製化率（工場稼働率）改善も、作業充当面での前年対比減少が継続
- ➡ 印刷関連事業 : 1 Qの大幅改善（前期は設備更新不備で利益悪化）により、通期で改善
- ➡ BPO : 4 Qでは前期大規模案件終了の反動減があるも、通期では利益確保

2-06 2023年3月期 通期 人材セグメントの状況（対前年同期）

（単位：百万円）

	売上高		前年同期比		営業利益		前年同期比	
	2023年3月期 通期	2022年3月期 通期	増減	増減率 (%)	2023年3月期 通期	2022年3月期 通期	増減	増減率 (%)
人材	6,677	6,856	△ 179	△ 2.6	133	480	△ 347	△ 72.2

当事業セグメントにおける市場概況

- 社会経済活動が回復し、観光業・飲食業等も含め採用需要は堅調に推移

売上高

- ↑ 求人媒体・HRテック：通期において、求人媒体・HRテックサービスが前年対比で伸長
- ↑ 人材派遣：キャリアステーション（新潟:事務派遣）エヌティ（埼玉:物流業派遣）の増収が寄与
- ↑ 人材紹介：国内人材紹介事業が前年対比で堅調に推移
- ↓ BPO：前年度あったコロナ関連BPO案件特需の反動減

営業利益

- ↑ 求人媒体・人材派遣：広告宣伝費の増加も、広告効果による売上増もあり全体では前年比増
- ↓ BPO：前年度あったコロナ関連BPO案件特需の反動減

2-07 新規事業について

葬儀事業

- ・ 2023年3月期業績（2社合計）

（単位：百万円）

	1Q		2Q		3Q		4Q		通期		2024年3月期 通期計画
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
売上高	17	44	97	210	373	376	401	383	890	1,013	1,490
営業利益	△ 125	△ 60	△ 81	△ 39	119	16	128	46	40	△ 37	150

あんしんサポート事業

- ・ 2023年2月より営業スタート（現在 7名体制）
- ・ 2024年3月期から収益化

火葬炉

- ・ チーム採用が一段落
- ・ メンテナンスの内製化から先ず着手

3

2024年3月期
業績予想・配当予想

3-01 2024年3月期 業績予想

2024年3月期

(単位：百万円)

	通期予想	前期実績 (今回発表)	前期比	
			増減	増減率(%)
売上高	40,000	36,668	3,332	9.1
営業利益	6,360	4,280	2,080	48.6
経常利益	6,110	4,185	1,925	46.0
税引前当期純利益	6,110	4,071	2,039	50.0
法人税等	1,610	29	1,581	5,451.5
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,500	4,042	458	11.3

式場が増えることで大幅な増収増益予定

※ 詳細は中期経営計画 3.0 に記載

3-02 2024年3月期 業績予想 | 四半期

(単位：百万円)

第1四半期

	予想	前期実績	前期比	
			増減	増減率(%)
売上高	7,164	7,832	▲ 668	▲ 8.5
営業利益	295	467	▲ 172	▲ 36.8
経常利益	281	463	▲ 182	▲ 39.3
親会社株主に帰属する四半期純利益	206	356	▲ 150	▲ 42.2

第2四半期

	予想	前期実績	前期比	
			増減	増減率(%)
売上高	8,796	8,656	140	1.6
営業利益	931	730	201	27.5
経常利益	767	740	27	3.7
親会社株主に帰属する四半期純利益	565	573	▲ 8	▲ 1.4

第3四半期

	予想	前期実績	前期比	
			増減	増減率(%)
売上高	10,610	9,711	899	9.3
営業利益	1,832	1,219	613	50.3
経常利益	1,783	1,172	611	52.2
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,313	973	340	34.9

第4四半期

	予想	前期実績	前期比	
			増減	増減率(%)
売上高	13,430	10,469	2,961	28.3
営業利益	3,302	1,864	1,438	77.1
経常利益	3,279	1,810	1,469	81.2
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,416	2,139	277	12.9

※注：2024年3月期より報告セグメントの変更を予定しております。
 前期実績については、現時点の情報に基づき算出した数値であり
 変更となる可能性がございます。

3-03 2024年3月期 業績予想 | 四半期 セグメント別 (単位：百万円)

第1
四半期

	計画	前期実績	前期比	
			増減	増減率(%)
売上高	7,164	7,832	▲668	▲8.5
葬祭公益セグメント	1,352	1,148	204	17.8
葬祭収益セグメント	1,703	1,256	447	35.6
資産コンサルティングセグメント	0	0	0	-
情報セグメント	2,628	3,839	▲1,211	▲31.5
人材セグメント	1,481	1,589	▲108	▲6.8
営業利益	295	467	▲172	▲36.8
葬祭公益セグメント	38	112	▲74	▲66.1
葬祭収益セグメント	516	435	81	18.6
資産コンサルティングセグメント	0	0	0	-
情報セグメント	▲419	▲185	▲234	-
人材セグメント	▲74	▲45	▲29	-
調整額	234	151	83	55.0

第2
四半期

	計画	前期実績	前期比	
			増減	増減率(%)
売上高	8,796	8,656	140	1.6
葬祭公益セグメント	1,386	1,288	98	7.6
葬祭収益セグメント	1,973	1,478	495	33.5
資産コンサルティングセグメント	190	0	190	-
情報セグメント	3,580	4,258	▲678	▲15.9
人材セグメント	1,667	1,632	35	2.1
営業利益	931	730	201	27.5
葬祭公益セグメント	76	144	▲68	▲47.2
葬祭収益セグメント	662	449	213	47.4
資産コンサルティングセグメント	143	0	143	-
情報セグメント	▲138	▲38	▲100	-
人材セグメント	29	▲29	58	-
調整額	159	202	▲43	▲21.3

第3
四半期

	計画	前期実績	前期比	
			増減	増減率(%)
売上高	10,609	9,711	898	9.2
葬祭公益セグメント	1,593	1,472	121	8.2
葬祭収益セグメント	2,374	1,756	618	35.2
資産コンサルティングセグメント	12	0	12	-
情報セグメント	4,756	4,719	37	0.8
人材セグメント	1,874	1,764	110	6.2
営業利益	1,832	1,219	613	50.3
葬祭公益セグメント	394	300	94	31.3
葬祭収益セグメント	993	599	394	65.8
資産コンサルティングセグメント	4	0	4	-
情報セグメント	108	94	14	14.9
人材セグメント	136	38	98	257.9
調整額	197	189	8	4.2

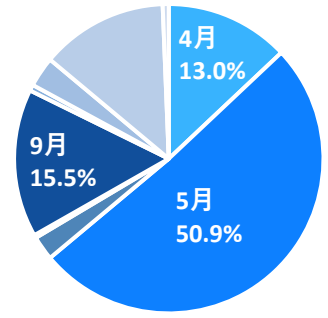
第4
四半期

	計画	前期実績	前期比	
			増減	増減率(%)
売上高	13,431	10,469	2,962	28.3
葬祭公益セグメント	1,702	1,653	49	3.0
葬祭収益セグメント	2,589	1,892	697	36.8
資産コンサルティングセグメント	166	0	166	-
情報セグメント	7,104	5,232	1,872	35.8
人材セグメント	1,870	1,692	178	10.5
営業利益	3,302	1,864	1,438	77.1
葬祭公益セグメント	510	459	51	11.1
葬祭収益セグメント	1,180	656	524	79.9
資産コンサルティングセグメント	139	0	139	-
情報セグメント	1,058	521	537	103.1
人材セグメント	146	9	137	1,522.2
調整額	269	219	50	22.8

コロナ⇒通常公共BPOへ

情報セグメント
 4Q計上(計画)
 BPO事業 4.2億円

(但し内31.6億円は既に商談中)



受注月	受注額
4月	410
5月	1,610
6月	80
7月	10
9月	490
10月	20
11月	100
12月	420
3月	20
計	3,160

5/10時点で、4.1億円受注済



3-04 2024年3月期 配当予想

2024年3月期

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
2023年3月期 実績	7円75銭	13円50銭 < 予定 >	21円25銭 < 予定 >
2024年3月期 予想	23円65銭	23円65銭	47円30銭

「中期経営計画 2.0」（2022年5月21日詳細公表）の通り、
2024年3月期以降は安定して配当性向30%の継続を目指せる見通し。

4

中期経営計画 3.0

4-01 業績目標

中期経営計画 3.0

(単位：百万円)

	2022.3月期 実績	2023.3月期 実績	中期経営計画 3.0		
			2024.3月期 予想	2025.3月期 計画	2026.3月期 計画
売上高	35,361	36,668	40,000	42,100	43,800
営業利益	3,729	4,280	6,360	7,970	8,710
経常利益	3,610	4,185	6,110	7,750	8,490
税引前当期純利益	3,627	4,071	6,110	7,750	8,490
法人税等	17	29	1,610	2,250	2,490
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,643	4,042	4,500	5,500	6,000

4-02 基本方針

1. 業績の更なる向上

- － 稼ぎ頭「式場」を2倍に！そして更に。
- － 既存事業の最適化（P.29「事業セグメントサマリ」に内容記載）

2. 長期的成長へ投資

- － 大型M & Aの模索
- － 相続コンサルティング事業の収益化

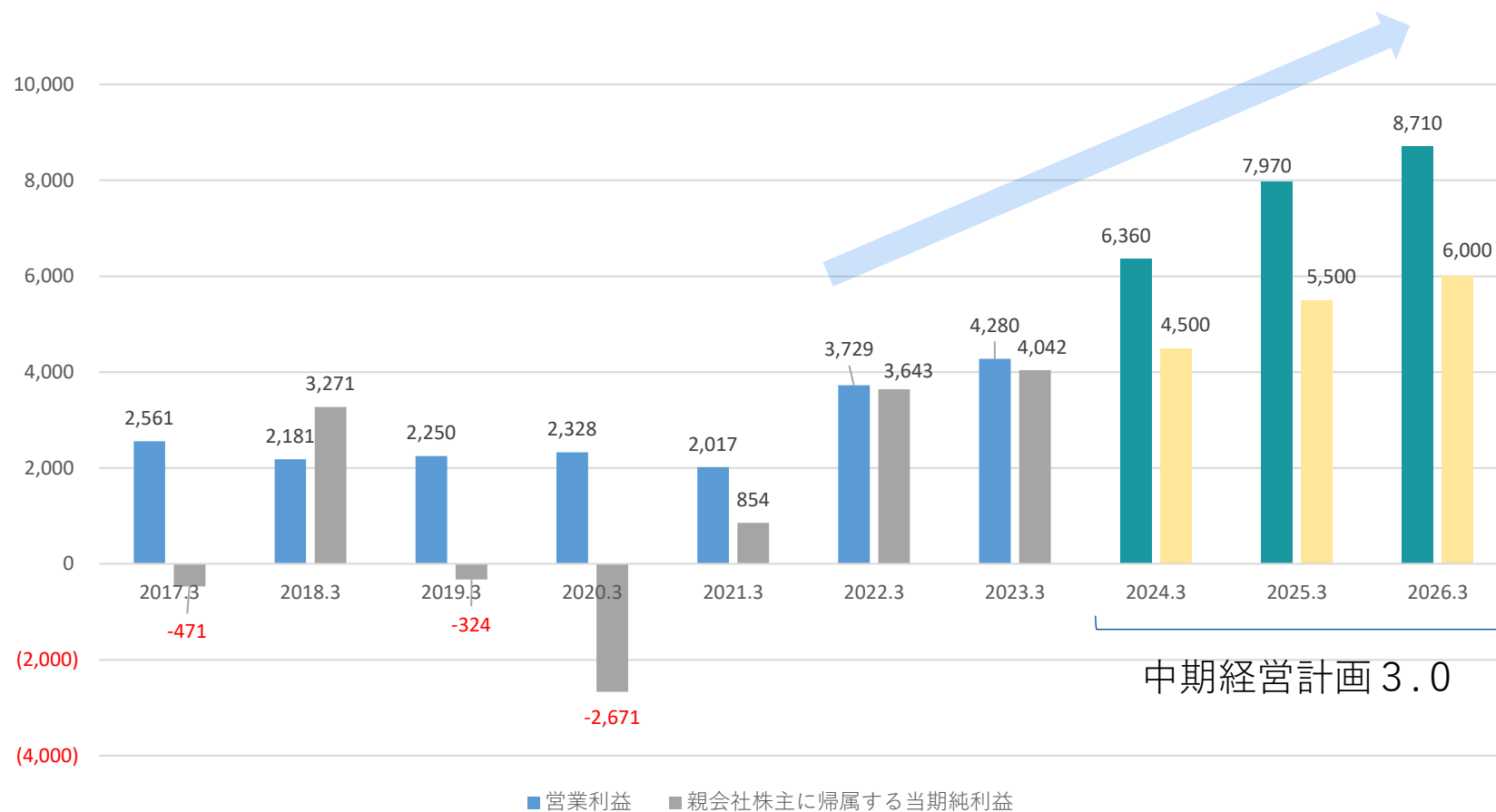
3. 株主還元の更なる充実

- － 流通株式比率向上 ⇒ 自社株買いを可能に
- － 配当性向 | 中計2.0で予定した通り、まず30%へ

4-03 営業利益・当期純利益 推移

(単位：百万円)

新中計の実行により、安定的かつ継続的な当期純利益を計上



中期経営計画 3.0

4-04 中期経営計画3.0の概要

式場増設等での成長GOAL

(単位：億円)

	'23.3	'24.3	'25.3	'26.3
営業利益	42	60	74	77
安定的 当期純利益	40	43	51	53
新規 資産コンサルティング 営業利益	0	3	5	10+α
当期純利益 計	40	45	55	60+α
目標時価総額	800	1,000	1,500	+α

'26.3期は
大型M&A等を通じた“脱皮”により
更なる中計の追加修正を目指す

相続マーケットで成長！

時価総額1,000億円は、
大型M&Aへの参加資格と考えます。

介護

病院

シルバー

医療

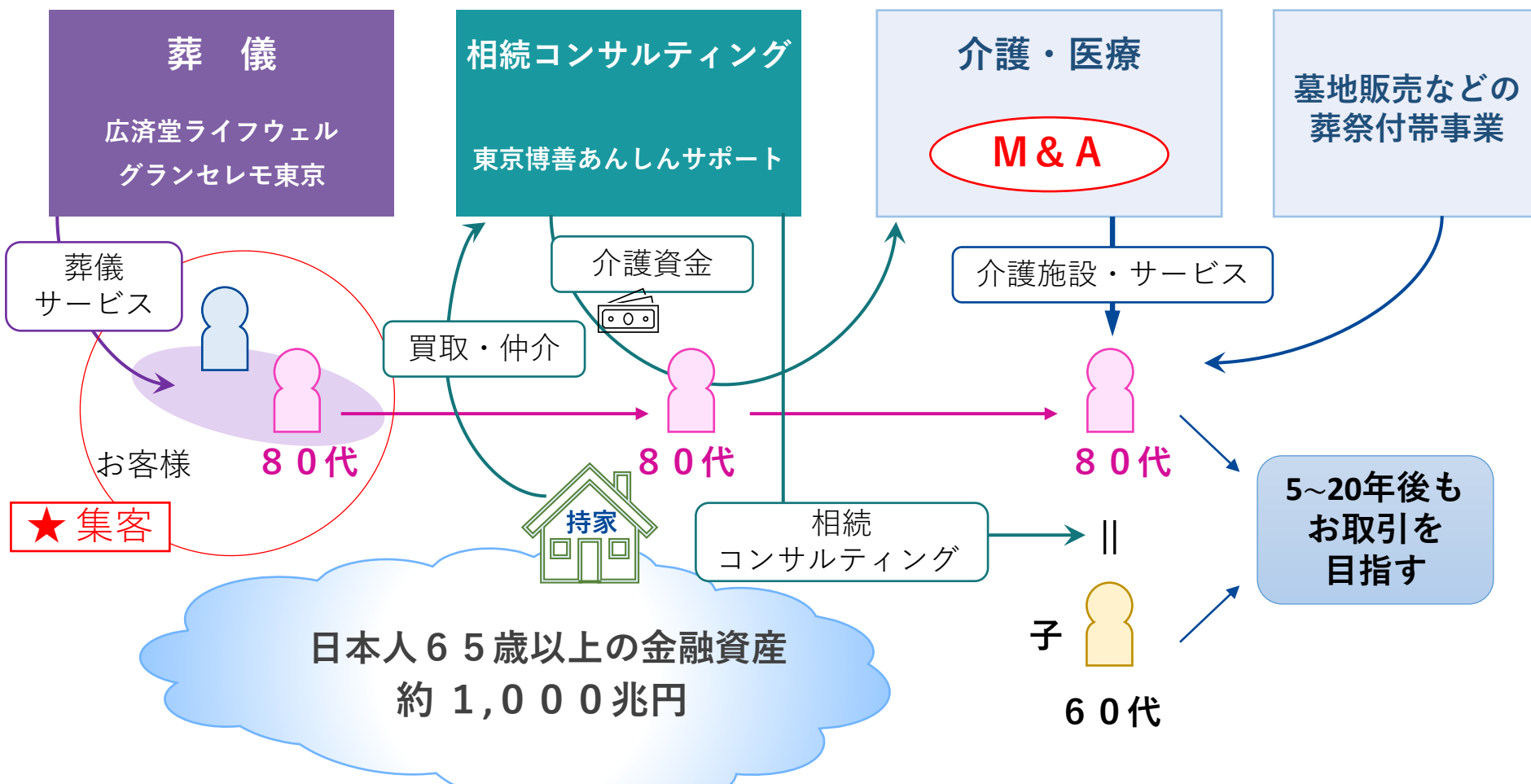
と

エンディング

シナジーで成長!!

長期的成長は、相続サービス、大型M&Aで模索

4-05 長期展望



「日本の超高齢化」 銘柄のナンバーワンへ！

4-06 中計2.0から3.0への主な変更点

(単位：百万円)

			2023年3月期 計画	2024年3月期 計画	2025年3月期 計画	合計	2026年3月期 計画
葬儀事業	中計2.0	売上高	890	1,619	2,239	4,748	-
		営業利益	40	275	485	800	-
	中計3.0	売上高	-	1,490	1,790	3,280	2,150
		営業利益	-	150	180	330	230
	差異	売上高	▲ 890	▲ 129	▲ 449	▲ 1,468	2,150
		営業利益	▲ 40	▲ 125	▲ 305	▲ 470	230
式場増設	中計2.0	売上高	0	341	951	1,292	-
		営業利益	0	215	745	960	-
	中計3.0	売上高	-	1,200	1,800	3,000	2,000
		営業利益	-	960	1,440	2,400	1,600
	差異	売上高	0	859	849	1,708	2,000
		営業利益	0	745	695	1,440	1,600
資産コンサルティング	中計3.0	売上高	-	367	700	1,067	1,400
		営業利益	-	286	500	786	1,000
合計	中計2.0	売上高	890	1,960	3,190	6,040	-
		営業利益	40	490	1,230	1,760	-
	中計3.0	売上高	-	3,057	4,290	7,347	5,550
		営業利益	-	1,396	2,120	3,516	2,830
	差異	売上高	▲ 890	1,097	1,100	1,307	5,550
		営業利益	▲ 40	906	890	1,756	2,830

4-07 中期経営計画2.0との比較

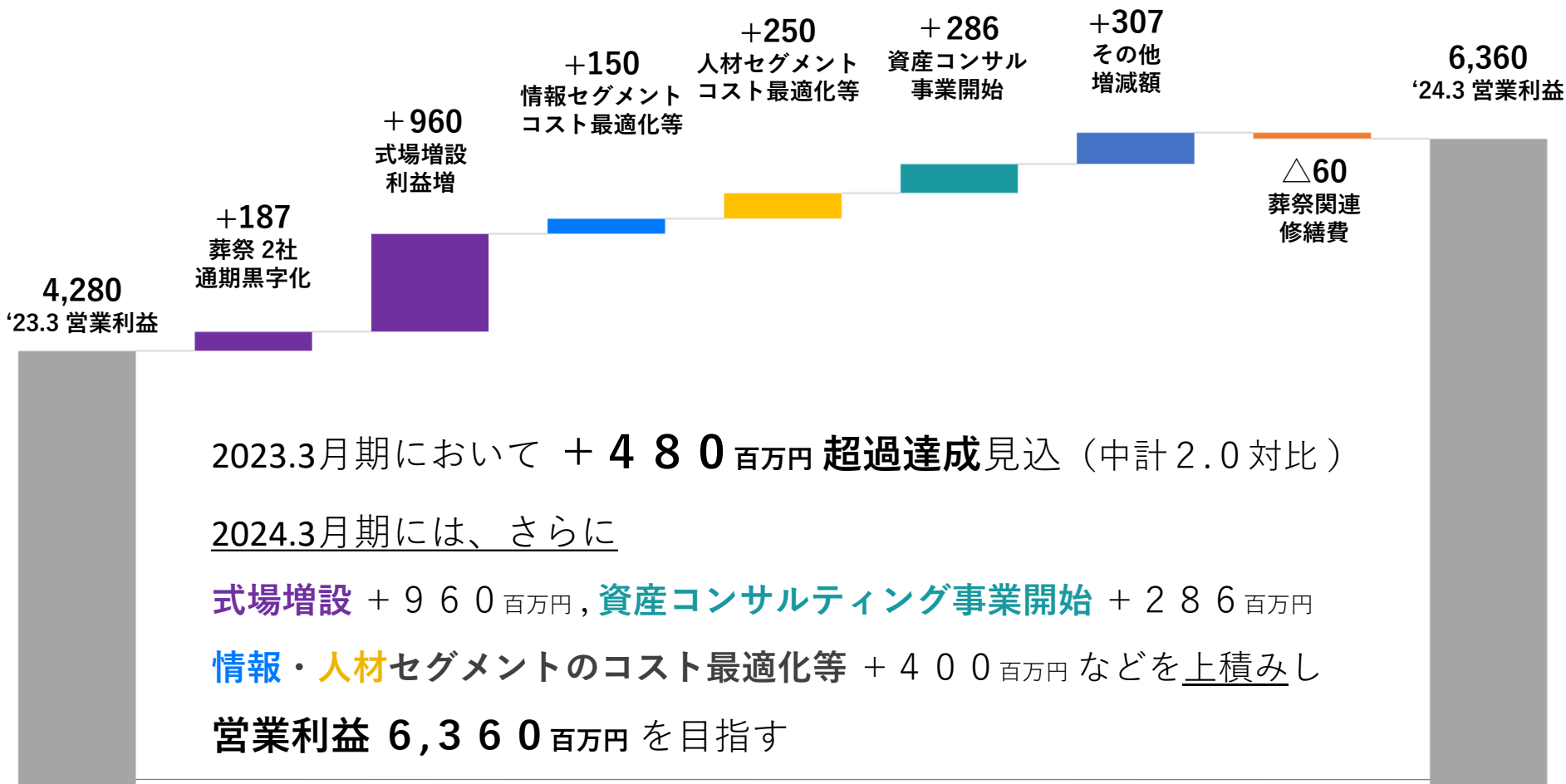
(単位：百万円)

		2022年3月期 実績 (参考)	2023年3月期 実績	2023年3月期 計画	2024年3月期 計画	2025年3月期 計画	2026年3月期 計画
中計 2.0	既存事業	4,442	5,203	4,730	5,517	6,882	
	葬儀	0	▲37	40	275	485	
	調整額等	▲713	▲886	▲970	▲1,092	▲1,167	
	計	3,729	4,280	3,800	4,700	6,200	
	当期純利益	3,643	4,042	2,950	3,750	4,800	
新中計 3.0	既存事業				6,136	6,774	6,792
	葬儀				150	180	230
	①新葬儀式場				960	1,440	1,600
	調整額等				▲1,172	▲924	▲912
	小計				6,074	7,470	7,710
	資産コンサル				286	500	1,000
	合計 営業利益				6,360	7,970	8,710
	法人税等				1,610	2,250	2,490
	当期純利益				4,500	5,500	6,000

当期純利益ベースで
2.0は前倒し達成

4-08 営業利益増減 | 2023年3月期 → 2024年3月期

(単位：百万円)



2023.3月期において **+480** 百万円 **超過達成**見込 (中計2.0対比)

2024.3月期には、さらに

式場増設 +960 百万円, **資産コンサルティング事業開始** +286 百万円

情報・人材セグメントのコスト最適化等 +400 百万円などを上積みし

営業利益 6,360 百万円 を目指す

'23.3

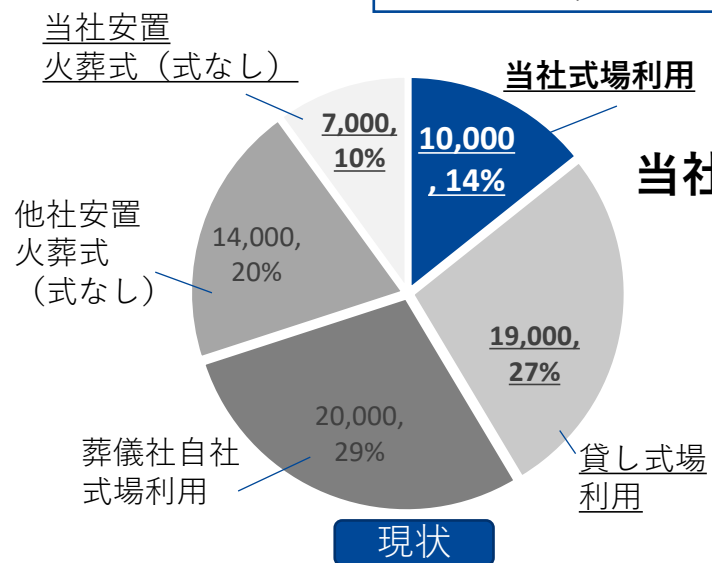
営業利益 +2,080 百万円
(増減率 +48.6%)

'24.3

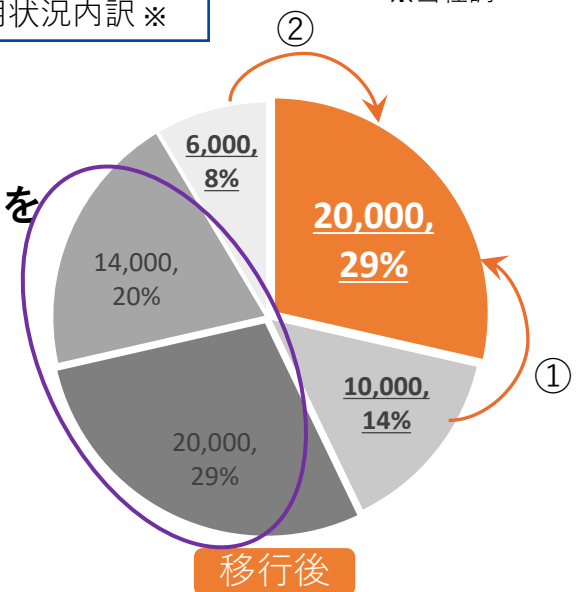
4-09 成長戦略 | 式場事業

※当社調べ

火葬件数70,000件における 式場利用状況内訳 ※



当社式場利用を
2倍に



- ① 9,000件分を、“貸し式場利用”から“当社式場利用”に移行させる
- ② 1,000件分を、“当社安置 火葬式利用”から“当社式場利用”に移行させる

A. 2023年9月までの増設に対する顧客は、上記 ①、②で確保

B. 同年9月以降の増設では、○枠で囲った所からの集客も必要

新たなマーケティング戦略

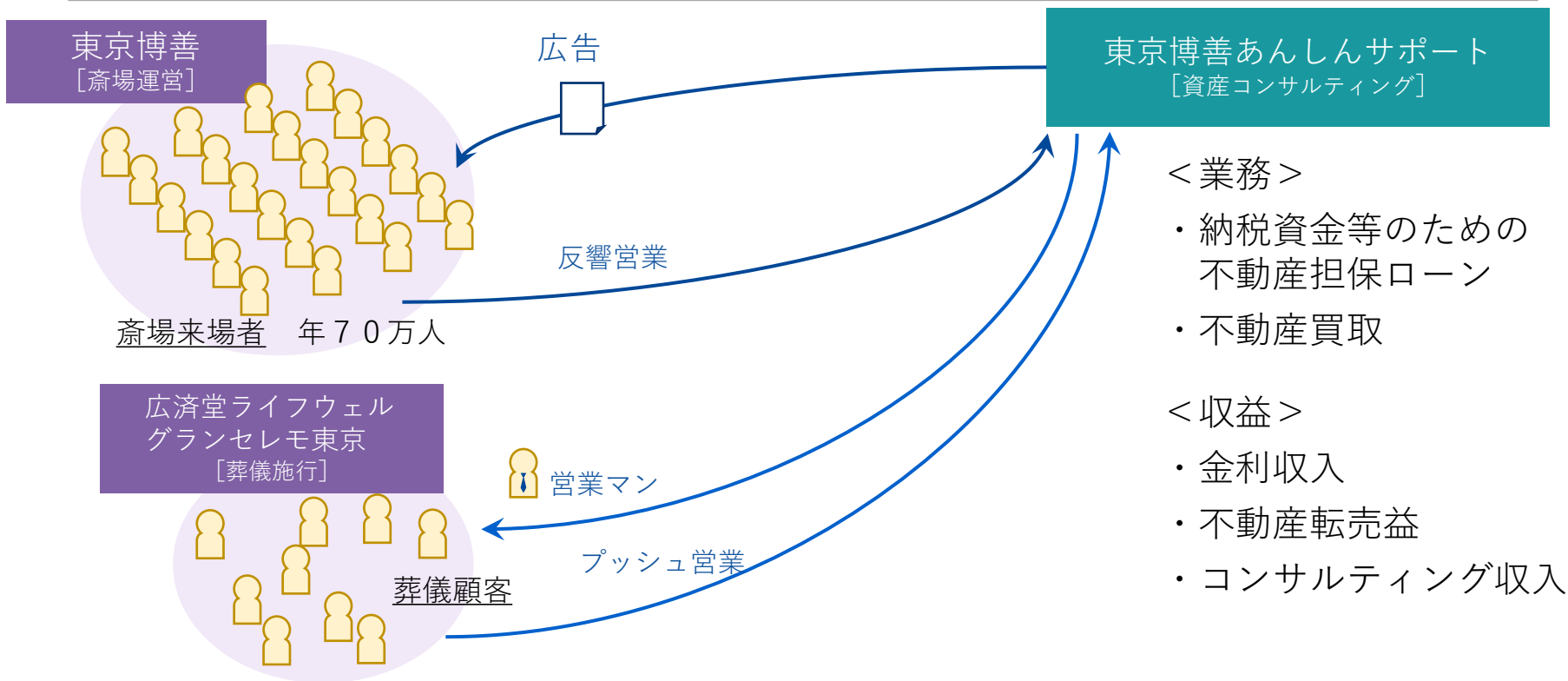
式場事業の利益最大化 (想定 + 1,600M + α)

'24.3
式場増設
(+ 36 式場)

'25.3
+ 1,440M

'26.3
更なる増設
+ 160M
+ α

4-10 資産コンサルティング事業



事業計画

	2022年3月期 実績	2024年3月期 計画	2025年3月期 計画	2026年3月期 計画
貸出金額	0	5,000	5,000	10,000
不動産投資残高	0	5,000	5,000	10,000
セグメント粗利	0	286	500	1,000

4-11 株主還元

配当計画

本中計においては、安定して配当性向30%の継続を目指す

(単位：百万円)

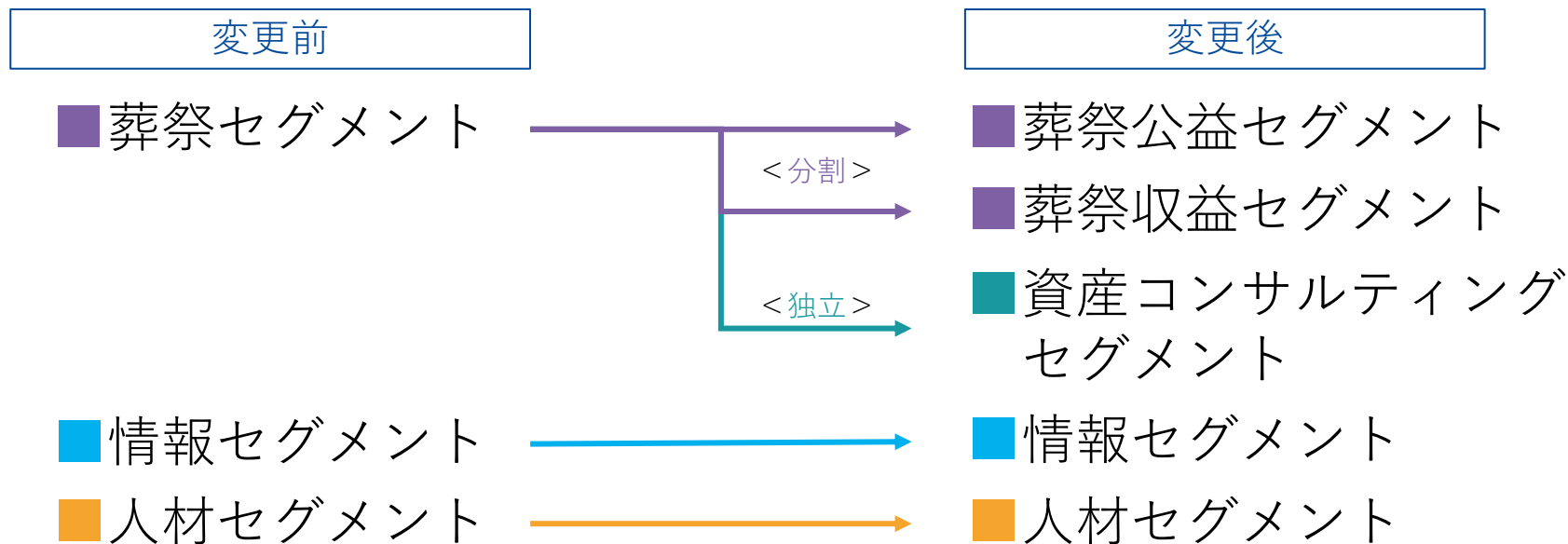
	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績(予定)	2024年3月期 予想	2025年3月期 計画	2026年3月期 計画
当期純利益	3,643	4,042	4,500	5,500	6,000
目標配当金額	-	606	1,350	1,650	1,800
目標配当性向	-	15%	30%	30%	30%

その他還元策

大株主との対話を通じた流通株式比率向上の実現等により
多様な株主還元策の環境を整え、自己株式取得を含めた
積極的な株主還元の実施を検討いたします

4-12 セグメント情報の変更

各事業の成長および経営実態を明確にすることを目的とし、
事業セグメントを変更（2024年3月期より開始予定）



葬祭公益セグメント

火葬にかかる事業は、公益性が高いことから利益成長を図る他事業セグメントとは区分して開示

資産コンサルティングセグメント

葬祭セグメント内にて、相続にまつわるコンサルティングを開始。相応規模の事業として目途が立ったことから独立して開示

4-13 葬祭公益事業の収支 | 2023年3月期 通期試算

葬祭公益事業は、公益性の高い事業であり、永続性と非営利性が求められます

透明性の向上

より一層の事業安定

葬祭公益事業に対する当社の責任

火葬設備における
維持・更新にかかる投資

葬祭公益事業における
損失等に対する備え

葬祭公益事業収支の考え方（算出式）

葬祭公益セグメント利益 - 法人税等 - 火葬炉特別修繕積立金 = 収支残

||

(葬祭公益事業損失準備積立金)

2023年3月期における事業収支 | 2022年4月～2023年3月累計

(単位：百万円)

①葬祭公益セグメントの利益			④法人税等	⑤火葬炉 特別修繕積立金	⑥事業収支
②セグメント売上高	③セグメントコスト	(② - ③) =			(① - ④ - ⑤) =
5,561	4,546	1,015	362	750	▲ 97

収支残は
利益処分

⑦葬祭公益事業
損失準備積立金

0

(※2023年5月現在の情報に基づく試算)

4-14 事業セグメントサマリ

■ 葬祭公益セグメント

- ✓ 社会的使命を果たし、都民の利便性を向上させる

■ 葬祭収益セグメント

- ✓ 式場を増やし、収益アップを図る

■ 資産コンサルティングセグメント

- ✓ 好調な立ち上がり。営業利益10億円の事業に育て、長期的には中心事業へ

■ 情報セグメント

- ✓ 広告代理事業・BPO事業の推進。経費圧縮を行いながら業界再編もにらむ

■ 人材セグメント

- ✓ HRテック事業からの撤退。手堅い事業をしっかりとやる

4-15 全体資金計画

(単位：百万円)

	2023年3月期 実績	2024年3月期 計画	2025年3月期 計画	2026年3月期 計画
営業C F	6,293	6,800	8,100	9,100
投資C F	△3,936	△4,800	△6,100	△7,100
借入金圧縮	△5,121	△2,000	△2,000	△2,000
配当	△221	△1,030	△1,500	△1,700
キャッシュ期末残高	18,635	17,500	17,200	15,400

A decorative blue background on the left side of the slide, featuring overlapping circles of varying shades of blue. A white letter 'A' is centered within a medium-sized circle.

A

Appendix

A-01 連結貸借対照表推移

(単位：百万円)

	2022年3月	2023年3月	期末差
流動資産	31,350	27,998	△ 3,352
現金および預金	21,662	18,699	△ 2,963
受取手形および売掛金	7,131	5,810	△ 1,321
固定資産	42,380	43,134	754
有形固定資産	35,820	35,807	△ 13
無形固定資産	916	886	△ 30
投資その他資産	5,643	6,440	797
資産合計	73,736	71,134	△ 2,602
流動負債	17,492	12,443	△ 5,049
短期借入金	5,500	1,400	△ 4,100
未払法人税等	409	325	△ 84
固定負債	18,723	17,256	△ 1,467
負債合計	36,215	29,699	△ 6,516
株主資本	37,239	41,060	3,821
資本金	2,478	100	△ 2,378
利益剰余金	26,742	30,561	3,819
新株予約権	9	11	2
純資産合計	37,520	41,434	3,914
負債・純資産合計	73,736	71,134	△ 2,602

A-02 沿革



2021年
持株会社体制に移行

2022年
葬儀サービス開始
(広濟堂ライフウェル
・グランセレモ東京)

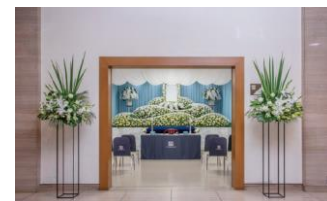
2013年
ベトナム法人設立
(海外人材事業開始)

1977年
求人情報誌創刊
(人材サービス事業開始)

1984年
東京博善がグループに加わる
(エンディング関連事業開始)

1970年
日本初の
コンピュータ組版会社設立

1949年
櫻井膳写堂を創業
(情報ソリューション事業開始)



MISSION 人生100年をもっと豊かに

VISION たくさんの“ありがとう”をつくり出す会社

VALUE 一人ひとりの挑戦と、組織としての強いつながりで、
ありがとうに溢れる革新的なサービスを提供します

当社は、社名にある「**広濟**」（**広く社会に貢献する**）を**経営理念**とし、
社会の発展と人々の豊かな暮らし創りの担い手として、信頼される企業グループを
目指しております。




A-04 広濟堂グループ

人生100年を
もっと豊かに。

広濟堂ホールディングス

KOSAIDOはグループの力を結集し、
「エンディング関連事業」「情報ソリューション事業」
「人材サービス事業」の3つの事業領域から
人々の人生100年を総合的に支援。
より良い環境、豊かな生活、そして希望に満ちた社会を
この先の未来に実現する革新的な
サービスの創出にチャレンジします。




エンディング関連事業

-  東京博善
-  広濟堂ライフウェル
-  グランセレモ東京



[主な事業内容]
火葬場運営・式場提供
葬儀サービス
エンディング関連ビジネス

情報ソリューション事業

-  広濟堂ネクスト
-  威海廣濟堂京友包装
-  x-climb



[主な事業内容]
オフセット印刷(出版・商業)
新聞印刷
デジタル印刷
パッケージ印刷
IT・デジタルソリューション
キャンペーンソリューション
D2Cビジネス支援
デジタルプロモーション支援
BPOサービス
展覧会ビジネス

人材サービス事業

-  広濟堂HRソリューションズ
-  広濟堂ビジネスサポート
-  キャリアステーション
-  共同システムサービス
-  ファインズ
-  エヌティ
-  KOSAIDO HR VIETNAM
-  タレントアジア



[主な事業内容]
求人メディア
求人媒体代理店
環境情報誌発行
フリーペーパーラック取次
人材派遣
人材紹介
人材育成・教育・研修
RPOサービス
海外人材サービス
HR Techサービス

A-05 広濟堂グループ°SDGs宣言

私たちは「広く社会に貢献する」
企業理念の実現のための行動を
起こすべく、

「SDGs」に貢献する

4つのマテリアリティを定めました。

希望ある未来を創造するため、
社員も含めたステークホルダーの
皆さまとともに、

“iDO”を社会課題解決の実現という
“DO”につなげてまいります。



経済

広くささえる

サステナブルな経済活動への価値創造
目まぐるしく変化する世情の中においても、わた
したちのDNAである「広濟(広く社会に貢献する)」
の名のもと、サステナブルな経済活動のイノベ
ーターとなり、既成概念に捉われない柔軟性で共創
価値を創造します。



社会

ともに生きる

公平で多様性のある地域社会の発展
これからの「人生100年時代」に、誰もが自分
らしい生き方を選ぶことができるよう、“思い
やりファースト”で地域社会のファシリテ
ーターとなり、身も心も自由なライフスタイルを
実現します。



未来を+にする会社

環境

未来をまもる

環境負荷軽減による美しい地球の継承
次世代を生きる子どもたちや生き物が共存できるよ
う、地球のライフセーバーとなり、温暖効果ガスの
削減や生態系の保全に努め、パートナーとの連携で
更なる環境リスク軽減を目指します。



企業文化

笑顔でつながる

透明性と対話のある健全な企業経営
法令遵守はもとより、誰ひとり取り残さないSDGsの普遍
的価値に基づく「人権尊重」「ジェンダー平等」「女性
のエンパワーメント」推進によって、一人ひとりがム
ードメーカーとなり、働きがいある職場づくりとコミュニ
ケーションにあふれる企業文化を守り続けます。



人生100年をもっと豊かに

<本資料についてのご注意>

本資料のうち、業績見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいて算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性から、実際の業績等が見通しの数値と大きく異なる結果となりうることを、ご承知おき下さい。



KOSAI DO GROUP

広濟堂ホールディングス

<https://www.kosaido.co.jp/>